

個別の教育支援計画・個別の指導計画とは？

No.4 の記事では新得高等支援学校がコラムの担当となります。今回は個別の教育支援計画と個別の指導計画について書かせていただきました。コラムを読んでいただき少しでも各校の特別支援教育の充実に一役立てることができましたら幸いです。

まず、最初に個別の教育支援計画と個別の指導計画の役割について。

障害のある児童などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で児童への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、各教科等の指導に当たって… (小学校学習指導要領第1章第4-2-(1)-エ)

分かりやすく言うと…

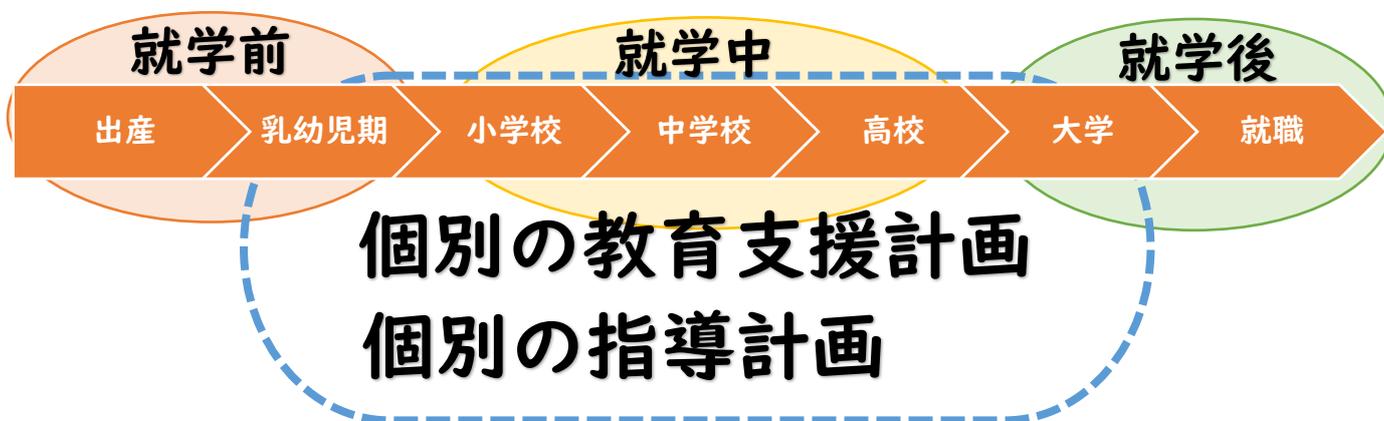
【個別の教育支援計画】：本人に対し必要な教育的支援を、関係機関と連携しながら行うための計画

【個別の指導計画】：個々の生徒の実態を把握し、適した方法による学習指導を行うための計画

個別の教育支援計画のイメージ



児童生徒の支援をするにあたって「個別の教育支援計画」は簡単に言うと大人の指導・支援の役割や方法(誰が何をどのように支援するのか)が分かりやすく書いている資料です。それぞれの役割や支援内容を共有し、子どもや保護者の願いの実現に向け協力して支援を行っていきます。



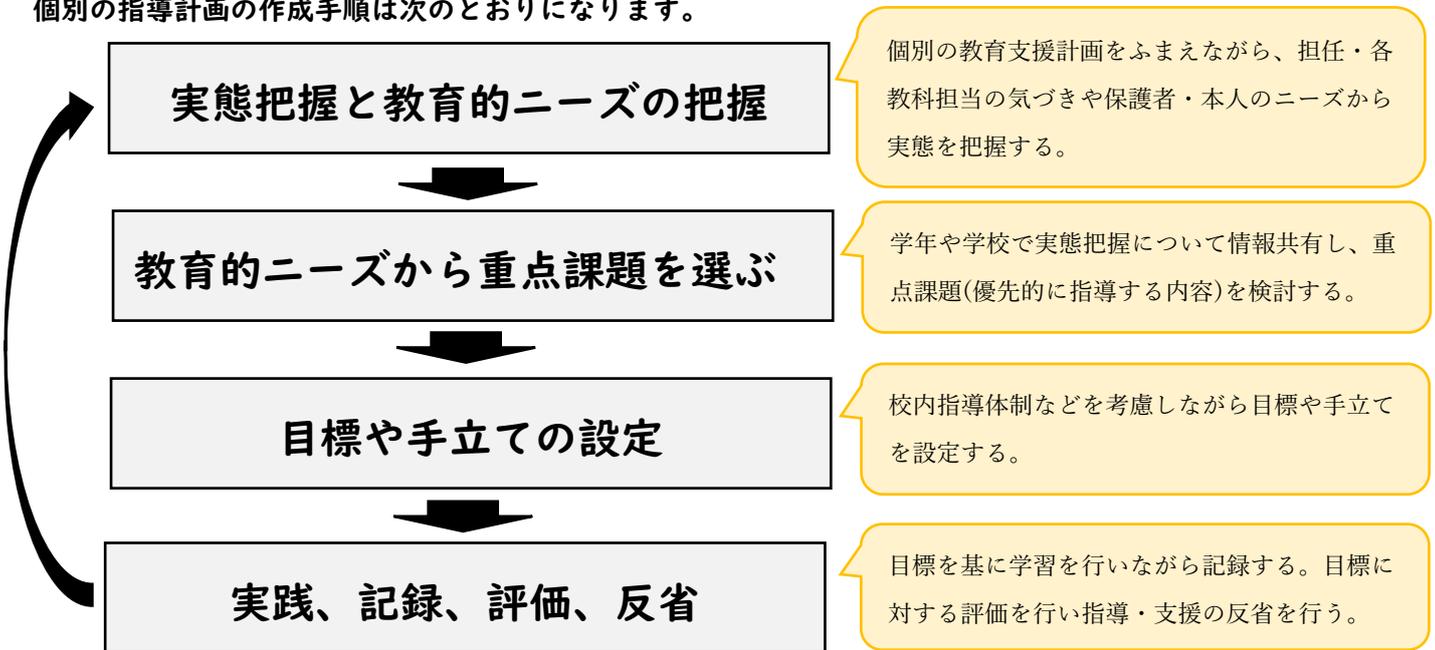
就学前から就学後まで様々な大人が一人の生徒に関わっています。個別の教育支援計画があれば、その児童生徒に関わっている機関や地域・家庭・学校が連携しながら一貫した教育的な支援につなげることができます。個別の指導計画は学校の教育課程に基づき、発達段階や子どもの特性に応じた指導・支援を教育支援計画の目標などと照らし合わせながら行うものとなっています。



学校における教育活動において、個に応じた指導の最適化を行うために必要な実態・目標・指導方法・手立て等を記載している書式が「個別の指導計画」です。

個別の指導計画は学校全体で行うことが基本です。児童生徒に関わる先生方と協力し学習を進めていくことが大切です。

個別の指導計画の作成手順は次のとおりになります。



実態把握から反省までの流れを繰り返し行い、児童生徒の実態把握を深めつつ、指導に関する評価を行うとともに指導方法等の改善につなげることが大切になってきます。

最後に、今回の記事の内容以外にも各教育現場で困っている問題がたくさんあるかと思います。とかねっとに所属している特別支援学校はいつでも連絡をお待ちしておりますので気軽に相談してください。

(文責 新得高等支援学校 コーディネーター)